



ニューヨークでの展示会の活用

北陸銀行 国際部
 ニューヨーク駐在員事務所
 清水 善門

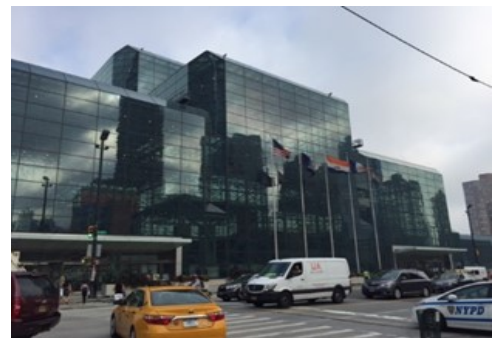
1. はじめに

アメリカの各都市では、大小数多くのギフト・ショー見本市が開催されます。その中の一つに、北米で最大規模かつその出展効果に定評のある「NEW YORK NOW ギフト・ショー」があります。年2回、2月と8月に開催されますが、毎回たくさんのバイヤーと出展企業で賑わいます。

「NEW YORK NOW」は、フランスの「メゾン・エ・オブジェ」、ドイツの「アン・ビエンテ」、日本の「東京ビッグサイトギフトショー」、米シカゴの「シカゴハウスウエアショー」と並び、世界でも有数の集客力を誇る展示会です。半径500kmの商圏のバイヤーが大半を占める他のギフト・ショーとは別格で、全米のみならず、世界中からバイヤーが訪れるギフト・ショーとして有名です。

その人気の理由の一つは、出展効果が他のギフト・ショーの10倍以上の成果が期待できると評判があるため、出展企業がどのギフト・ショーよりも力を入れており、その結果、魅力のある良い商品、トレンドな商品が必然的に数多く出展されるからだと言われています。

今回は、「NEW YORK NOW」の概要および2017年夏に行われた実際の展示会の様子をご紹介します。



【ニューヨークの展示会場:事務所撮影】

2. 「NEW YORK NOW」の概要

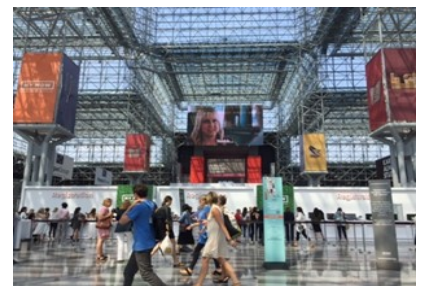
(1) 展示会規模

出展企業：約2,700社

展示面積：46,500㎡

(2) 出展内容

製品カテゴリーは、ギフト製品、キッチンウエア、日用品、デザイン雑貨など多岐にわたります。



【展示会場内:事務所撮影】

来場者数は、3万5000人規模といわれ、世界中から集まるプロのバイヤーが、今後のトレンドをいち早く先取りしようと鋭い視線を投げかけています。

また、「NEW YORK NOW ギフト・ショー」は、小ロットでの仕入が可能で、アメリカの最新情報を数多く、しかも小さいロットで商いできるという利点があります。出展企業1社あたりの最小注文量は、出品商品をよりどり合わせて200ドル位から可能とのことで、融通が利くという点も特色のようです。

3. 「NEW YORK NOW」出展の日本企業、ジャパン・パビリオン等の活用

2017年夏の展示会は、8月20日～8月23日の4日間に開催されました。出展企業数は約2,700社で、海外からの出展も多く、日本からも北海道や北陸地方等、全国各地から出展がありました。

日本からは、JETROの「ジャパン・パビリオン」を利用した出展も見られました。今回は、海外進出を目指す27社が選出され、北米市場への自社商品の売り込みのサポートを受けていました。木・紙製品、ゴム・プラスチック製品、繊維・皮革製品、窯業・ガラス・金属製品といった業種の企業が参加し、その中でも「NEW YORK NOW」初出展企業が13社、うち6社が海外初進出に臨む企業でした。

「ジャパン・パビリオン」出展企業に対して、JETROは、準備段階から企業をサポートしています。そして展示会当日には、現地でのビジネス経験豊富なコーディネーターを配置し、現地ネットワークを活用した商談機会の提供を行っています。

一方で、当初は、県やJETROのような支援制度を活用して出展していたのを、数年で卒業し、独自にブースを出展する北陸企業も見られました。しかし、海外への販路開拓といっても、採算面での黒字化は容易ではない様子で、「1年目は感触を掴み、2～3年目でコネクションを作り、5年を目処に黒字化できれば。」ということでした。



【「NEW YORK NOW」会場内の様子
：事務所撮影】

4. 世界が目にする主な展示会

展示会名	国名	概要	開催頻度	来場者数
メゾン・エ・オブジェ	フランス	欧州最大級の インテリアデザイン見本市	年2回 (1月、9月)	約80,000人
アン・ビエンテ	ドイツ (フランクフルト)	ドイツ最大の 国際消費材見本市	年1回 (2月)	約140,000人
シカゴハウスウェア	アメリカ	北米最大の家庭用品 ハウスウェア見本市	年1回 (3月)	約60,000人
東京ビッグサイトギフト ショー	日本	日本最大の ギフト・ショー見本市	年2回 (2月、9月)	約200,000人
NEW YORK NOW	アメリカ	北米最大規模の ギフト・ショー見本市	年2回 (2月、8月)	約35,000人

5. おわりに

今回、「NEW YORK NOW」の展示会に実際に足を運び、日本から出展された方に直接お話をお聞きすることができました。現地に足を踏み入れ、現場で顔をみて話をするこゝでつながるネットワークもあるようです。海外の販路開拓には、乗り越えなければいけない課題も多いですが、まずはこれらの展示会を訪れてみて、感触を探ってみることもヒントを得るきっかけになるのではないのでしょうか。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。記載内容については、ご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
((株)人材情報センター内)
TEL: (076) 254-6500 FAX: (076) 254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp